令和6年度の事業実績

項目	内 容	金額	負担者
運営費	サイネージ通信料	67, 452 円	東海自動車
	(5,621 円/月×12 ヶ月)		
	振込手数料	16.440 円	県、市町
取組1	サイネージ設置 (JR 片浜駅)	1,664,740 円	国、県、市町、富士急シティバス
	サイネージ利用料	745, 241 円	県、三島市・伊東市・河津町、バス事業者
	(ユニ・トランド:79,750×4ヶ月=319,000:4駅分		
	56,832×7ヶ月=397,824:3駅分		
	22,917×1 ヶ月=22,917:三島駅)		
	(NEC:5,500×1ヶ月=5,500:修善寺駅、下田駅)		
	サイネージ点検(三島駅、下田駅、	71,500 円	県、三島市、下田市、伊豆市
	下田メディカルセンター、修善寺駅)		
	サイネージ修繕(JR 三島駅)	775, 500 円	県、三島市
	サイネージ更新 (端末交換:修善寺駅)	456, 500 円	県、伊豆市
	サイネージ更新 (着脱作業:下田駅)	40,700 円	県、下田市
	サイネージ電気使用料(伊豆高原駅、河津駅)	48,000 円	県、伊東市、河津町
取組2	交通系 IC データ保守料	792,000 円	県、市町、東海自動車、伊豆箱根バス
	(66,000円/月×12ヶ月)		
予備費	次年度緊急対応用	40,000 円	県
合 計		4, 718, 073 円	

●サイネージ設置(JR 片浜駅)



設置状況 (近景)



日本語表記



設置状況 (遠景)



英語表記

●順天堂バスの持続可能性を探るワーキンググループの開催(令和7年1月16日)

- ・本WGは昨年度に設置し、3回のWGを経て、現行路線に対する利用拡大に繋がる取組のとりまとめを行った。
- ・今年度に入り、東海バスから現行路線を見直す提案があり、沿線市町においてその提案に対する意向が整理された。
- ・今回のWGでは、今年度の動きを情報共有するとともに、今後の進め方について意見交換を行った。

<東海バスの提案(選択肢)>

- ①運行をとりやめる
- ②新系統(下田駅〜河津下田道路〜天城峠〜修善寺駅〜順天堂病院)を設定し、輸送人員の増加を図り、その後、既存の国庫補助系統である、河津駅〜天城峠〜修善寺駅線(10 往復)のうち、3 往復程度を新系統に振り替えるという再編を行って新系統を国庫補助(地域間幹線)系統として移行することを目指す。
- ③4市町と順天堂病院の欠損全額補助により現行の運行を維持する。

<沿線市町の提案に対する意向>

- ・令和6年度をもって順天堂直通バス運行協定は解消する。
- ・令和7年10月国庫補助路線化を目指し、必要な手順を経て実証実験につなげる。(上記②の受け入れ)

<意見交換>

- ・東海バスは沿線市町の要望にできる限り応えてほしい。
- ・実証実験に係る費用を伊豆地域公共交通活性化協議会で負担してもらえないか?
- ・ 賀茂地域だけでなく、伊豆地域全体で考えてほしい。新たな路線では、土肥方面の方が修善寺駅で乗り換えることができないと 聞いている。交通事業者間で協議し、伊豆西海岸の方が順天堂病院に円滑に通えるよう考えてほしい。



